

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●A. プーシャン騎手がJRA初勝利をあげる

11月8日(土)の5回東京1日・第1レースではブルメリアリノが1着となり、同馬に騎乗したアレキシ・プーシャン騎手(フランス)は、JRA初勝利(11戦目)をあげました。

●丸山元氣騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

11月8日(土)の3回福島1日・第5レースではディヴァインスカイが1着となり、同馬に騎乗した丸山元氣騎手(美浦・根本康広厩舎)は、史上54人目・現役30人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●富田暁騎手がJRA通算200勝を達成

11月9日(日)の3回福島2日・第10レースとして行われた河北新報杯ではアレナパラシオが1着となり、同馬に騎乗した富田暁騎手(栗東・フリー)は、現役60人目となるJRA通算200勝(4087戦目)を達成しました。

●3歳以上・ダート1,800mの中央競馬レコードタイム更新

11月9日(日)の4回京都2日・第11レースとして行われたみやこS(GⅢ)では、ダブルハートボンドが1分47秒5(不良)のタイムで勝利しました。これは2009年アンタレスS(GⅢ)でウォータクティクスが記録した1分47秒8(重)を更新する同コースのレコードタイムであり、さらに2019年名鉄杯(L)でスマハマが記録した1分47秒6(中京・重)を更新する3歳以上・ダート1,800mの中央競馬レコードタイムともなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2025ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は10月30日に実施され、第1戦は佐藤翔馬騎手(美浦)、第2戦は阿岸潤一朗騎手(北海道)が優勝しました。この結果、JRAからは佐藤翔馬騎手、谷原柚希騎手、石田拓郎騎手、横山琉人騎手(以上美浦)、西塚洸二騎手、高杉吏麒騎手、古川奈穂騎手、大久保友雅騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

●サンライズC(門別)はエンドレスソロウ【各地の2歳重賞】

サンライズC(10月1日、門別、1,800m)は、2番手から4コーナー手前で逃げ馬を交わした2番人気のエンドレスソロウ(牡、父ニューイヤーズデイ)がデビュー以来3連勝。園田プリンセスC(9月18日、園田、1,400m、牝馬)は、中団から差を詰めた2番人気の地元兵庫所属馬ココキュンキュン(父エボカドーロ)がゴール前で差し切り勝ち。兵庫ジュベナイルC(9月25日、園田、1,400m)は、4番手を進んだ5番人気の北海道からの転入馬エイシンイワハシル(牡、父アジアエクスプレス)が、ゴール前の接戦をハナ差で制しました。ネクストスター門別(10月2日、門別、1,200m)は、好発から2番手に控えた2番人気のスペシャルチャンス(牡、父ダノンレジェンド)が直線に入って間もなく抜け出し、函館2歳S10着からの巻き返しに成功。ネクストスター盛岡(10月12日、盛岡、1,400m)は、2番手を追走したラウダーティオ(牡、父ワールドエース)が直線入口で先頭に立って押し切り、単勝1.6倍の支持に応えています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1メルボルンC～ハーフユアーズがG1連勝

現地11月4日にオーストラリア・ヴィクトリア州のプレミントン競馬場で行われたG1メルボルンC(3歳上、芝3,200m)は女性のJ.メルハム騎手(旧姓カー)が手綱を取ったハーフユアーズ(騾5歳、父セントジーン、T&C. マカヴォイ厩舎)が中団追走から直線で力強く抜け出して優勝しました。2.75馬身差の2着にアイルランドからの遠征馬で、G3スタネーラS勝ちのグッディートゥーシューズ。日本から参戦したシュヴァリエローズは23着に終わりました。勝ったハーフユアーズは今年9月のG3ナチュラリズムS(芝2,000m)で重賞初制覇。その後10月4日のG1ターンプルSは4着でしたが、続く前走10月18日のG1コーフィールドC(芝2,400m)でG1初制覇を飾っていました。コーフィールドCとメルボルンCのダブル制覇は2年ぶり13頭目です。

●G1豪チャンピオンズS～ヴィアシスティーナが制す

11月8日にオーストラリア・ヴィクトリア州のプレミントン競馬場で行われたG1豪チャンピオンズS(3歳上、芝2,000m)はJ.マクドナルド騎手を背に後方でレースを進めたヴィアシスティーナ(牝8歳＝現地発表での年齢、父ファストネットロック、C.ウォラー厩舎)が残り300mで先頭に立つと、4連勝中の上がり馬ザンパルドに2.75馬身差をつけて優勝。10月のG1コックスプレート(芝2,040m)に続くG1連勝として、12個目のG1制覇を果たしました。